

7 材料の追加投入

(1) 追加材料が最後に投入される場合

追加する材料が工程の最後（終点）で投入される場合は、その材料費はすべて完成品に負担させる。（月末仕掛品にはまだその材料は投入されていないため）

(2) 工程を通じて平均的に追加投入される場合

追加する材料が工程を通じて平均的に投入される場合は、その材料費は加工費と同様に計算して、完成品と月末仕掛品の両者に負担させる。

(問題)

次の資料に基づき、先入先出法によって、当月の完成品総合原価と月末仕掛品原価を計算しなさい。甲材料費は始点で投入し、乙材料は工程を通じて平均的に投入する。

〈生産データ〉

月初仕掛品 20 個 (50%)

当月投入 110 個

合計 130 個

月末仕掛品 30 個 (60%)

完成品 100 個

() は加工進捗度である。

〈原価データ〉

月初仕掛品原価

甲材料費 12,000 円

乙材料費 8,000 円

加工費 15,000 円

当月製造費用

甲材料費 66,000 円

乙材料費 43,200 円

加工費 86,400 円

(解答)

先入先出法	仕掛品	
甲材料費 12,000 乙材料費 8,000 加工費 15,000	甲材 20 個 乙材 10 個 加工 10 個	甲材 100 個 乙材 100 個 加工 100 個
甲材料費 66,000 乙材料費 43,200 加工費 86,400	甲材 110 個 乙材 108 個 加工 108 個	甲材 30 個 乙材 18 個 加工 18 個
		甲材料費 18,000 乙材料費 7,200 加工費 14,400

完成品総合原価

甲材料費：(12,000 + 66,000) - 18,000 = 60,000 円

乙材料費：(8,000 + 43,200) - 7,200 = 44,000 円

加工費：(15,000 + 86,400) - 14,400 = 87,000 円

以上より

月末仕掛品：39,600 円

完成総合品原価：191,000 円

(問題)

次の資料に基づき、先入先出法によって、当月の完成品総合原価と月末仕掛品原価を計算しなさい。甲材料費は工程の始点で投入し、乙材料は工程の終点で投入する。

〈生産データ〉

月初仕掛品 20 個 (20%)

当月投入 110 個

合計 130 個

月末仕掛品 30 個 (80%)

完成品 100 個

() は加工進捗度である。

〈原価データ〉

月初仕掛品原価

甲材料費 5,100 円

乙材料費 0 円

加工費 1,080 円

当月製造費用

甲材料費 38,775 円

乙材料費 23,400 円

加工費 38,700 円

(解答)

先入先出法	仕掛品		
甲材料費 5,100 加工費 1,080	甲材 20 個 加工 4 個	甲材 100 個 加工 100 個 乙材 -個	
甲材料費 38,775 加工費 38,700 乙材料費 23,400	甲材 110 個 加工 120 個 乙材 -個	甲材 30 個 加工 24 個	甲材料費 10,575 加工費 7,740

完成品総合原価

甲材料費 : $(5,100 + 38,775) - 10,575 = 33,300$ 円

加工費 : $(1,080 + 38,700) - 7,740 = 32,040$ 円

乙材料費 23,400 円

以上より

完成総合品原価 : 88,740 円

月末仕掛品 : 18,315 円